

木樹脂ステップデッキ 組立施工マニュアル

マニュアル番号 ME-1420

この度は、新日軽の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
正しい施工をしていただく為このマニュアルをお読みください。
施工完了後はお施主様へお渡しください。

安全にお使いいただくために必ずお守りください。

このマニュアルに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

絵表示	意味	絵表示	ご使用上の注意とお願ひ
	この表示を無視して誤った取り扱いをすると使用者が負傷する危険や物的損害の発生することを表しています。		「必ず行なっていただくこと」を示しています。

注意

- 製品をみだりに改造、変更しないでください。
- 本製品の脚部は必ずコンクリートにて埋め込み施工してください。



使用上のご注意について

- 本製品に100kg以上の重量物をのせないようにしてください。
- 樹脂は弱酸、弱アルカリ、食塩水、アルコール（水でうすめたもの）には優れた抵抗性を持っていますが、濃酸、濃アルカリ、又シンナー、ベンジン等の有機溶剤や石油類は、使用しないでください。
- ステップデッキの近くで殺虫剤、除草剤は使用しないでください。スプレータイプで石油系、フロン系の場合、接触すると変形、割れを生じることがあります。

- 本製品を本来の使用目的以外の防護柵や手すり等に使用しないでください。
- 本製品に電気製品のアース等を直接接続しないでください。

- 微小火源では着火しにくくなっていますが、火気には十分にご注意ください。又、70℃以上になると変形しますので、近くで焚火をしたり高温のものを近付けたりしないでください。
- 表面が汚れた時は水洗いしてください。洗剤を使用する際は中性洗剤を水でうすめて使用し、よく水で洗い流して拭きとってください。

施工上のご注意

新日軽のアルミ製品はJISの表面処理規定を十分クリアした製品をお届けしていますが、取扱によっては異常腐食を起こし思わぬトラブルとなりますので、施工にあたっては次のような点に注意してください。

- (1) モルタル用に海砂を使用されますと、塩分が多量に含まれていますから腐食の原因になりますので、その使用を避けていただくか、十分水洗いしたものを使用してください。
- (2) モルタルやコンクリートの抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になりますので工事中に商品の表面に流れないように注意してください。
- (3) モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用がありますのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・珪酸ナトリウム等の入っていないものを使用してください。
- (4) 施工時に商品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また、アルミ表面にキズをつけますと腐食しやすくなりますので取扱いには十分注意してください。
- (5) アルミ製品と異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合にはビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
- (6) 腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を施工上使用する場合は、アルミ製品と接触しないようにしていただくか、接触する部分を完全に養生してください。
- (7) 輸入木材には塩素イオン等の腐食成分が多く含まれているものがありますので、その使用を避けていただくか、アルミと接触する部分には木材に塗装するようにしてください。
- (8) 柱内部にモルタルやコンクリートが入らないように施工時に注意してください。
- (9) 基礎施工の際は地下の埋設物にご注意ください。また寒冷地はその地域にあった基礎工事をしてください。
- (10) 地盤が軟弱な場合は、柱の埋め込み深さ、フーチングの大きさを考慮してください。

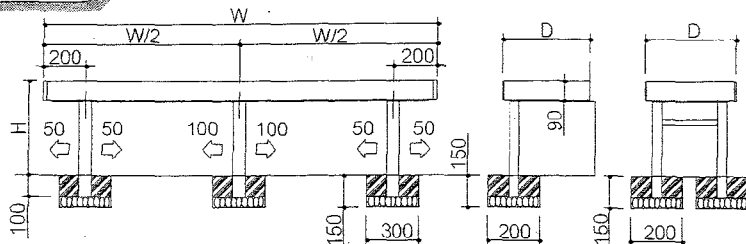
* 汚れ、ホコリが付着した場合には、軽く水で流すかテープ等の接着面で軽くたたくようにしてください。

木樹脂製品のお手入れ方法について

年に数回の水洗いと、空ぶきだけでも効果的です。ただし、工業地帯や海岸の近くなどでは、状況によりお手入れの回数を増やしてください。

汚れが軽い場合: やわらかい布かスポンジで水ぶきした後空ぶきしてください。
汚れが目立つ場合: 中性洗剤を薄めた液で汚れを落とし洗剤が残らないように水洗いしてから空ぶきしてください。

姿 図



◁は脚移動範囲を示す。

W:18は脚2本、W:27は脚3本がW方向に必要です。

壁付けタイプ 独立タイプ

- * 製品の高さ(H)は、600mmまで可能です。製品は600mmで製作されています。
- * 脚の移動範囲は、左右50mmです。(中間部は左右100mm)

タイプ		W	D
壁付けタイプ	出巾 04	W18	1849
	出巾 05	W27	2758
独立タイプ	出巾 04	W18	1849
	出巾 05	W27	2758

梱包部品内容明細

製品区分	製品	壁付けタイプ本体		独立タイプ本体		壁付けタイプ脚		独立タイプ脚	
		1804:1805	2704:2705	1804:1805	2704:2705	脚2本	脚3本	D=427用	D=559用
脚固定金物								2	2
六角ボルトM6x15		2	2	4	4			8	8
六角ボルトM6x60						4	6		
M6スプリングワッシャー		2	2	4	4	4	6	4	4
M6平ワッシャー						4	6	8	8
M6蝶ナット		2	2	4	4				
M6六角ナット						4	6	4	4
デッキ固定金具		2	2	4	4				
脚補強材取付ビスφ4x12トラス								2	2
壁付けタイプ本体取付ビスφ4.1x45木ネジ		5	7						
壁付けタイプ本体取付ビスφ4.1x45木ネジ									
連続用ビスM4x12:M4x25:M4ナット:平ワッシャー:スプリングワッシャー		各4	各4	各4	各4				
雨漏調整部品		4	4	4	4				
油性コーキング材		1	1						
クッション材		8	12	8	12				
組立施工マニュアル (ME-1420)		1	1	1	1				
組立施工マニュアル (ME-301)						1	1		

製品組み合わせ表

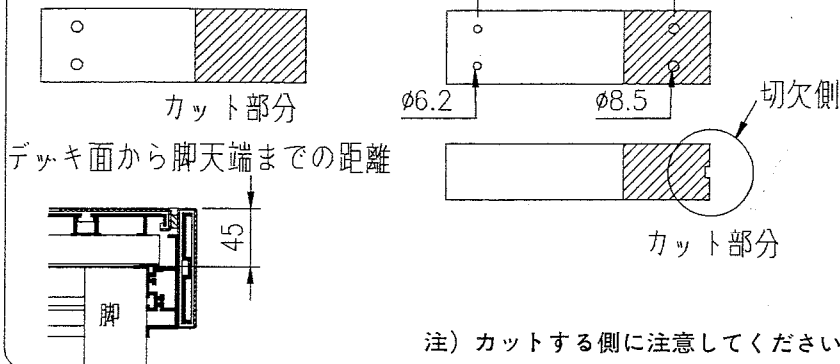
梱包は本体部分と脚部分とに分かれています。

タイプ		本体	脚
壁付けタイプ	出巾04	W18	1
		W27	1
	出巾05	W18	1
		W27	1
独立タイプ	出巾04	W18	1
		W27	1
	出巾05	W18	1
		W27	1

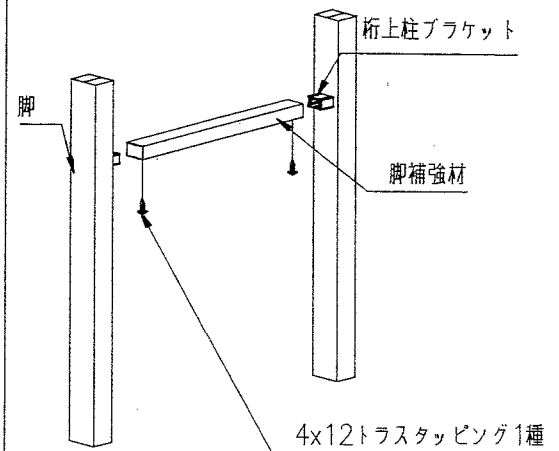
1. 脚の長さ切り詰めの場合 (壁付け、独立タイプ共通)

脚の長さは高さH=600用に設定してあります。(左図参照) 必要の長さに切り詰めて下さい。

独立タイプ脚

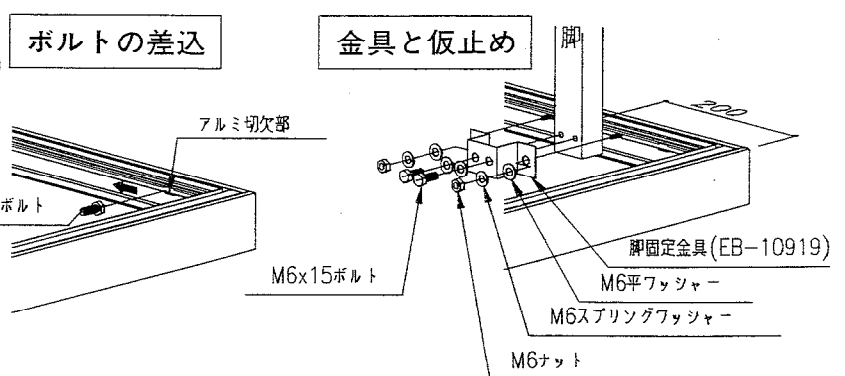


2. 独立タイプ脚の組立



3-1. 独立タイプ本体と脚の組立 (本体梱包の外蓋を外して下さい。製品が保護されたまま脚の取付ができます。)

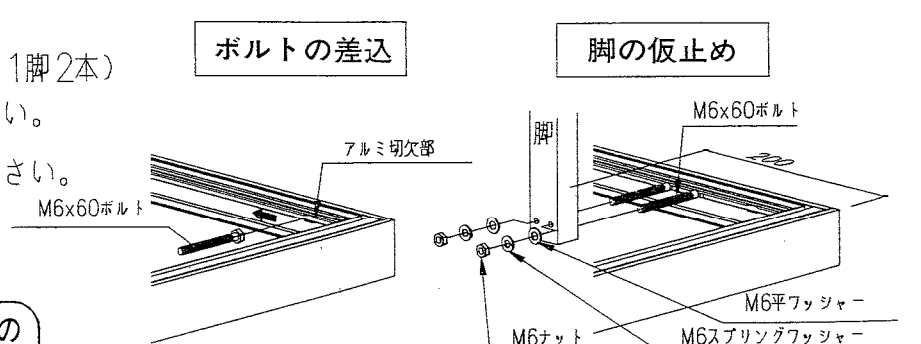
- M6x15ボルトを形材の切り欠き部からボルトの頭部分を差込んでください。(1脚2本)
- 脚と金具を仮止めしてください。
- 脚を取付位置に合わせて本締めしてください。



注) ボルトを強く締めすぎると、脚位置の調整ができなくなる場合があります。

3-2. 壁付けタイプ本体と脚の組立 (本体梱包の外蓋を外して下さい。製品が保護されたまま脚の取付ができます。)

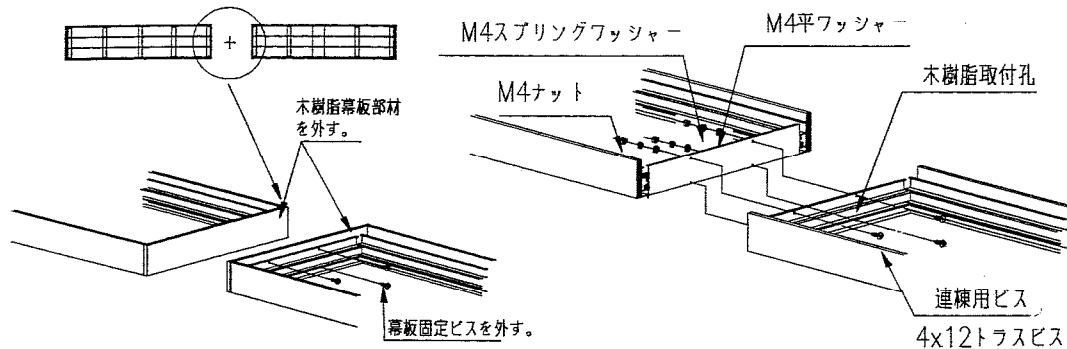
- M6x60ボルトを形材の切り欠き部からボルトの頭部分を差込んでください。(1脚2本)
- 脚をボルト・ナットで仮止めしてください。
- 脚を取付位置に合わせて本締めしてください。



注) ボルトを強く締めすぎると、脚位置の調整ができなくなる場合があります。

4-1. 直列連棟する場合 (図は独立タイプです。壁付きタイプも同様)

- 1 接合部分の木樹脂幕板部材を外してください。
- 2 ビス・ナットで木樹脂幕板を外したビス孔を利用して両端の部材を固定してください。

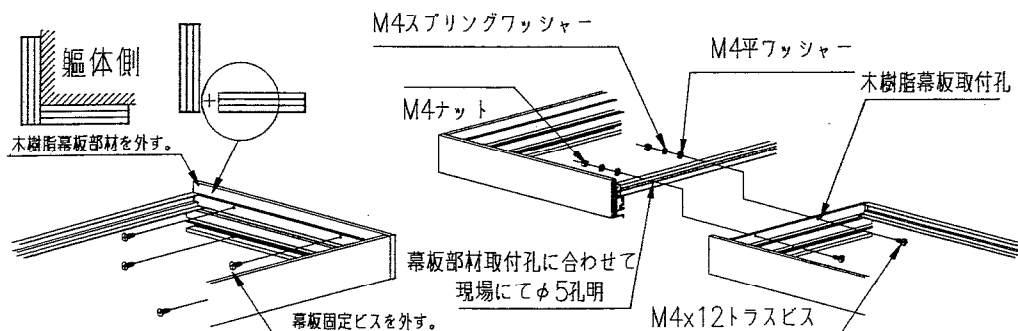


接合部分の木樹脂部材を外す。

両端の部材を固定する。

4-2. 壁付タイプを出隅連棟する場合

- 1 接合部分の木樹脂幕板部材を外してください。
- 2 木樹脂幕板を外したビス孔を利用して現場にてドリルでφ5の孔を明けてください。
- 3 ビス・ナットで部材を固定してください。

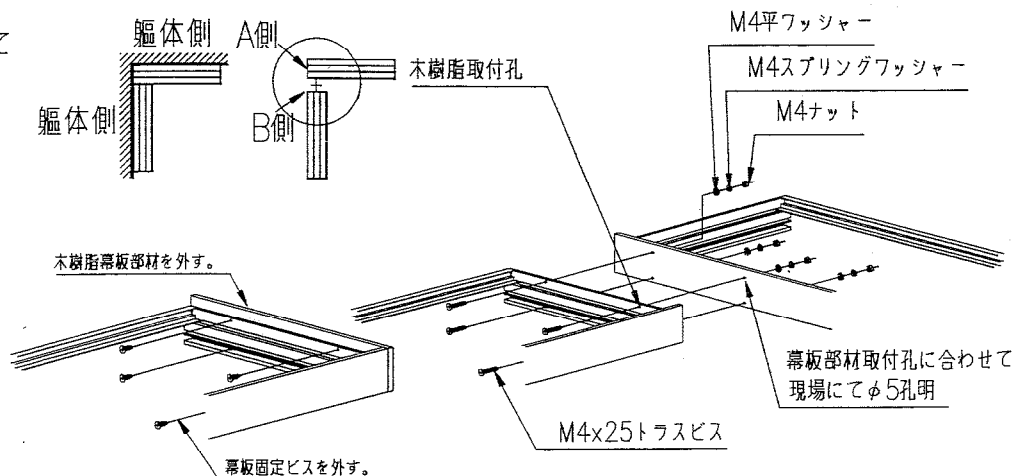


接合部分の木樹脂部材を外す。

両端の部材を固定する。

4-3. 入隅連棟と独立タイプの出隅連棟する場合

- 1 接合部分の木樹脂幕板部材を外してください。
壁付タイプ：A側、B側両方の幕板
独立タイプ：B側の幕板のみ
- 2 木樹脂幕板を外したビス孔を利用して現場にてドリルでφ5の孔を明けてください。
- 3 ビス・ナットで部材を固定してください。

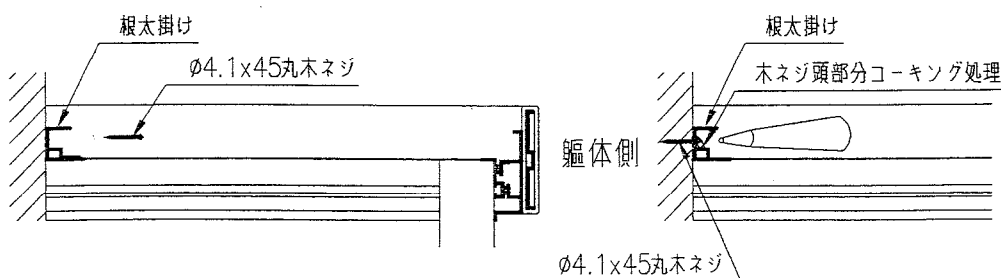


接合部分の木樹脂部材を外す。

両端の部材を固定する。

5. 壁付けタイプ躯体への取付

- 1 水平：垂直に注意してφ4.1x45丸木ネジで根太掛け部を躯体に取付けてください。
(φ3の下穴を明けてください。)
- 2 木ネジ頭部分防水のため付属の油性コーキング材 (NBC-256) を塗布してください。



木ネジで躯体に取付

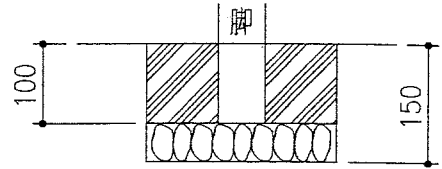
木ネジ頭部分コーキング処理

6. 脚の固定

1 脚の固定は、100mm以上コンクリートに必ず埋め込んで下さい。

注意

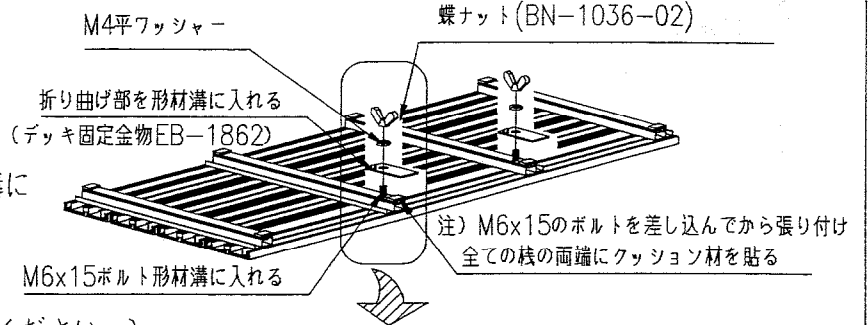
脚をコンクリートにて固定しない状態はステップデッキがぐらつき非常に危険です。必ず固定してください。



7. デッキ材への部品取付

1 デッキ材裏面の根太材溝に6x15ボルト頭部分を差込んでください。(端部から2番目の根太材に取付)

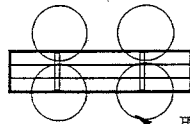
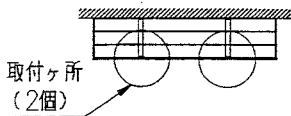
2 デッキ固定金物の折り曲げ部が根太材の溝に入るように取付けてください。また、固定金物の折り曲げ部が根太中央部にくるように取付けてください。(固定金物は回転しないように仮止めしてください。)



デッキ固定金物取付ヶ所

壁付タイプ

独立タイプ



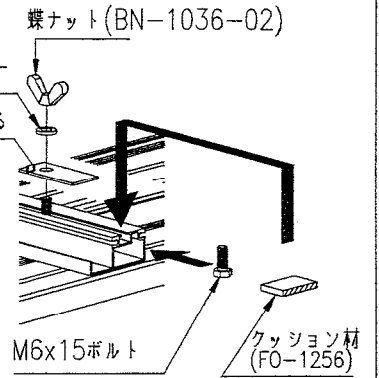
取付ヶ所 (2個)

取付ヶ所 (4個)

3 全ての根太材両端部にクッション材を貼付けてください。

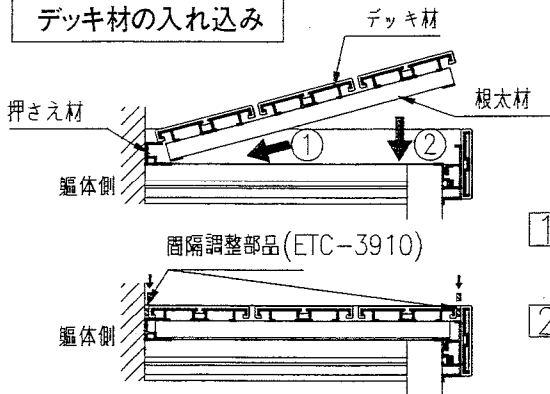
注意

ボルトを差し込んでからクッション材を貼付けてください

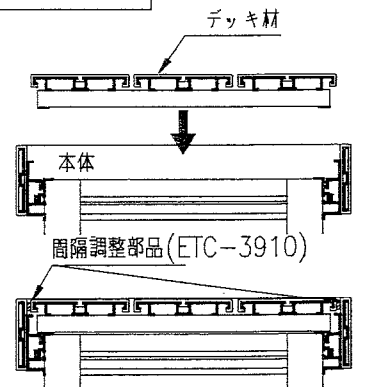


8. デッキ材の嵌め込みと間隔調整部品の取付

壁付タイプのデッキ材の入れ込み



独立タイプのデッキ材の嵌め込み



- 壁付けタイプの嵌め込みは①②の順に行ってください。
- 間隔調整部品を差込んで下さい。

9. デッキ材の固定 (壁付タイプ、独立タイプ共通)

1 枠材の突起部分にデッキ固定金具を掛け蝶ナットで締めて下さい。

注意

安全の為デッキ材が固定できたか確認して下さい。

